

# 中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】S-G12

申請日	2015/10/2	承認日	2016/1/28	委員長	印
レジメン登録	2023/10/1	仮承認日	2016/1/28	承認者	印

CapeOX	病名	胃癌	外科	提出医	Dr
<b>対象</b>	HER2陰性の切除不能進行・再発胃癌 一次治療以降				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m <sup>2</sup> 等)	投与方法 (div.iv.po等)	投与スケジュール(日)																	
			1	5	8	10	15	20	22	25...	35									
オキサリプラチン	130mg/m <sup>2</sup>	div	○																	
カペシタビン	※	po(朝)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	※	po(夕)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

投与間隔・休薬期間等: 21日=1コース

←————— 1コース —————→

## 【投与処方例(前投薬など)】

\*手足症候群予防として、保湿剤を処方すること。

\*オキサリプラチン投与中は温罨法を行う。

- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤-1】5%ブドウ糖液100mL+アロカリス1V+パロノセトロン1V+デキサート4mg /div 30分
- ③ メイン【赤-2】5%ブドウ糖液500mL+オキサリプラチン+デキサート4mg /div 2時間

### 制吐剤セット処方④

Day2.3 デカドロン錠4mg 1錠(分1 朝食後)

\*腎機能低下時の減量方法については、クレアチンクリアランスに応じて、カペシタビンの投与量を変更すること

Ccr30~50mL/min 75%Dose

Ccr30未満は禁忌

※カペシタビンの内服量 2000mg/m<sup>2</sup>/Day

血液毒性・非血液毒性発現時の休薬・減量・再開基準を参考にする。

体表面積	1回用量※	1段階減量	2段階減量
~<1.36m <sup>2</sup>	1,200mg(4錠)	900mg(3錠)	600mg(2錠)
1.36m <sup>2</sup> ≦~<1.41m <sup>2</sup>	1,500mg(5錠)		
1.41m <sup>2</sup> ≦~<1.51m <sup>2</sup>		1,200mg(4錠)	
1.51m <sup>2</sup> ≦~<1.66m <sup>2</sup>			900mg(3錠)
1.66m <sup>2</sup> ≦~<1.81m <sup>2</sup>	1,800mg(6錠)		
1.81m <sup>2</sup> ≦~<1.96m <sup>2</sup>		1,500mg(5錠)	
1.96m <sup>2</sup> ≦~<2.11m <sup>2</sup>	2,100mg(7錠)		1200mg(4錠)
2.11m <sup>2</sup> ≦~			

参考文献: NEJM2008; 358: 36